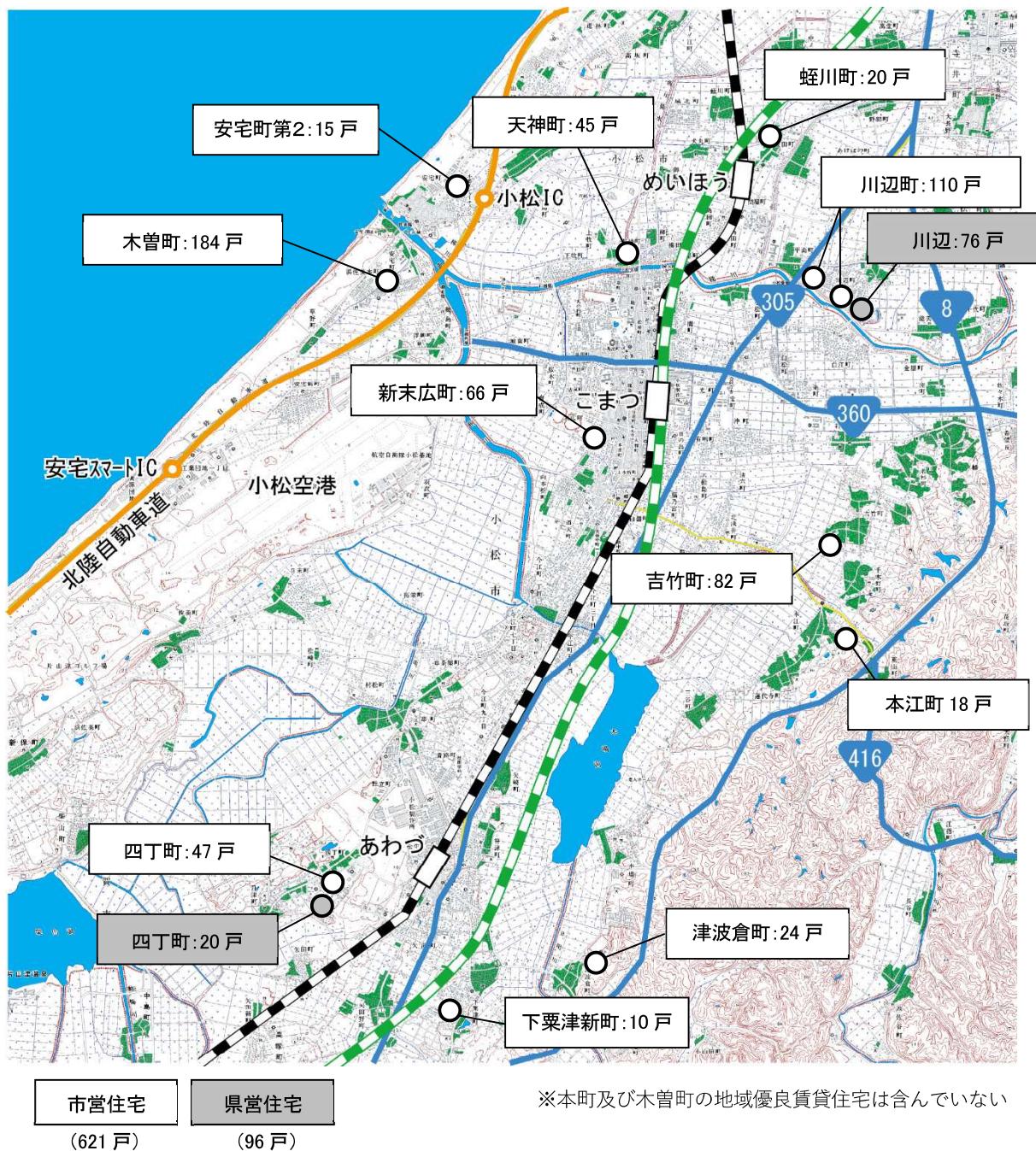


## 4. 公的賃貸住宅の状況

### (1) 公的賃貸住宅の分布

- 小松市内の公的賃貸住宅の分布は下図のようになっている。
- 市営住宅は、市街地の周辺部や郊外に多く整備されており、市中心部には新末広住宅（66戸）が整備されている。
- 県営住宅は、川辺町及び四丁町住宅に隣接して、それぞれ整備されている。

図表 公的賃貸住宅分布図（令和5年（2023年）6月現在）



## (2) 公的賃貸住宅ストック一覧

○市営住宅一覧

	建設年度	間取り	戸数	階数
天神	2003 2006	1LDK	25	5
		2LDK	10	
		3LDK	10	
新末広	1991～1993	2DK	25	6
		3LDK	40	
		2LDK (車椅子対応型)	1	
安宅第2	1963	募集停止中	15	1
木曽	1981	3DK	32	4
	1983	2DK	16	4
		3DK	8	4
	1995	3LDK	24	5
	1996	2LDK	30	4
	1998	3LDK	22	5
		2LDK (車椅子対応型)	2	
	2019	2DK	28	2
		3DK	16	
		3LDK	6	
蛭川	1969	募集停止中	20	1
川辺	2010 2011	1LDK	50	5
		2LDK	35	
		3LDK	25	
吉竹	1976	1K	4	4
		3DK	30	
	1978	3DK	24	4
	1980	3DK	24	4
本江	1971	募集停止中	18	1
津波倉	1973	募集停止中	24	1
下粟津新	1957	募集停止中	10	1
四丁	1969	募集停止中	47	1、2
合計			621	

※本町を含まない

令和5年(2023年)6月現在

○県営住宅一覧

	建設年度	間取り	戸数	階数
川辺町	1994	2LDK	8	4
		3LDK	8	
	1995	1LDK	1	4
		2LDK	14	
		3LDK	7	
	1996	2LDK	13	3、4
		3LDK	7	
	1998	2LDK	12	3
		3LDK	6	
四丁町	1999	1LDK	5	4
		2LDK	12	
		3LDK	3	
合計			96	

令和5年（2023年）6月現在

○地域優良賃貸住宅

	建設年度	間取り	戸数	階数
木曾	2022	2LDK	18	3
合計			18	

令和5年（2023年）6月現在

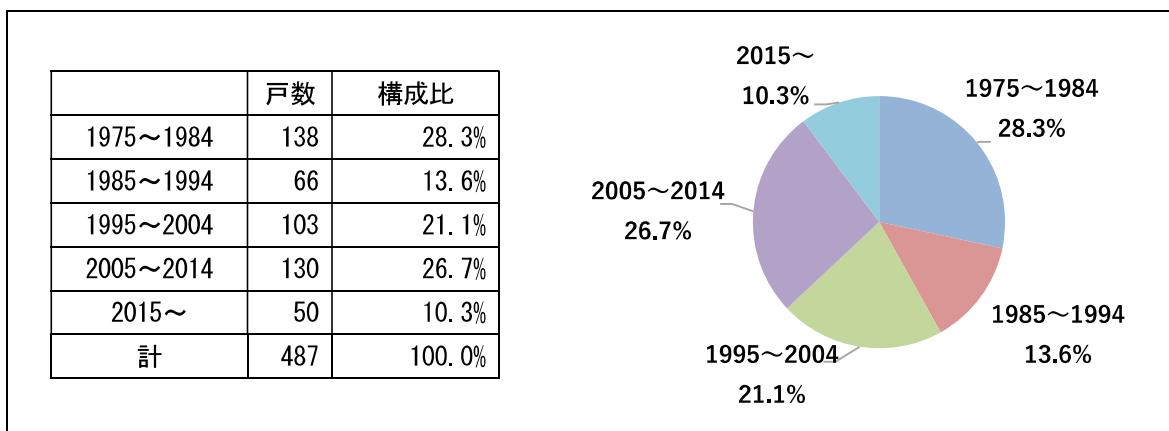
### (3) 市営住宅ストックの現況

○令和5年（2023年）6月現在において募集継続中の市営住宅の状況について示す。

#### ① 市営住宅の建設年度

- 建設年度をみると、昭和50年（1975年）～昭和59年（1984年）建設の住宅が28.3%、平成17年（2005年）～平成26年（2014年）建設の住宅が26.7%となっている。

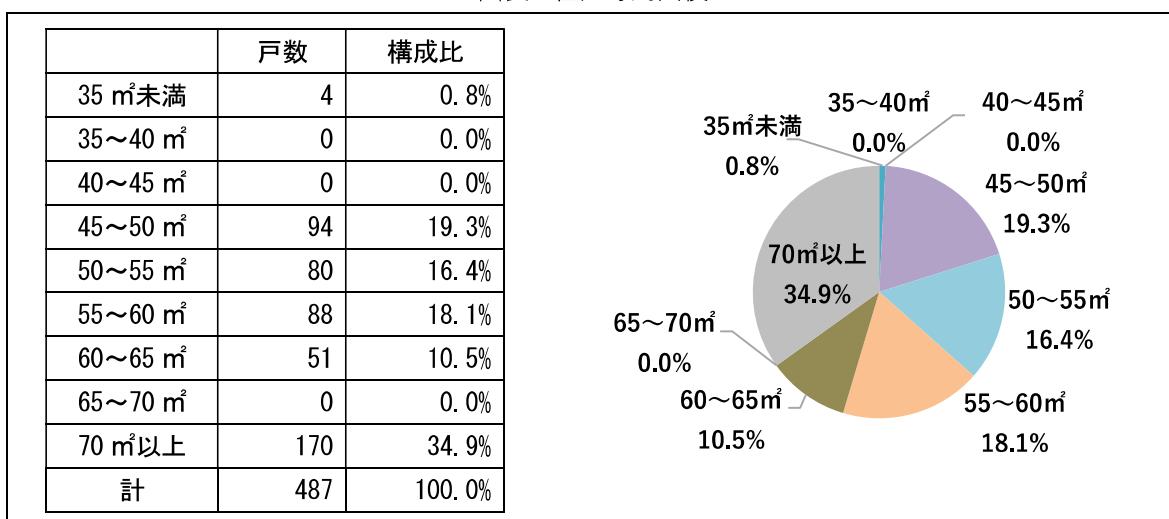
図表 建設年度



#### ② 市営住宅の住戸専用面積

- 住戸専用面積をみると、50 m<sup>2</sup>以下の住戸が20.1%を占めている。一方で、70 m<sup>2</sup>以上の住戸が全体の34.9%を占めており、戸数としては最も多くを占めている。

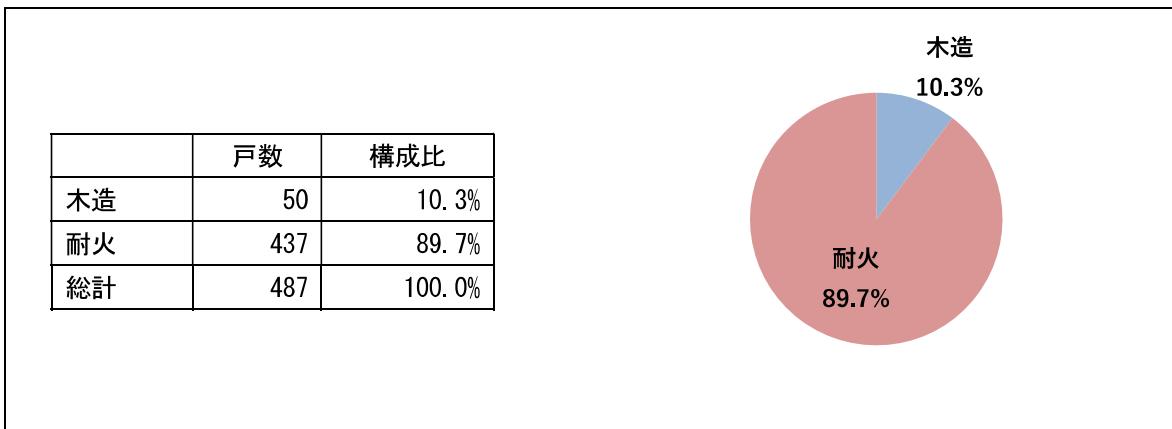
図表 住戸専用面積



③ 市営住宅の構造別戸数

- 構造別戸数をみると、耐火構造が 89.7% と大部分を占めている。

図表 構造



#### (4) 市営住宅入居者の属性

※市営住宅入居者の属性は令和5年(2023年)6月現在の状況

##### ① 管理戸数等

- 管理戸数 621戸に対して、入居戸数は463戸であり、入居率は74.6%である。
- また、入居戸数に占める賃貸階層戸数の割合は66.7%とである。

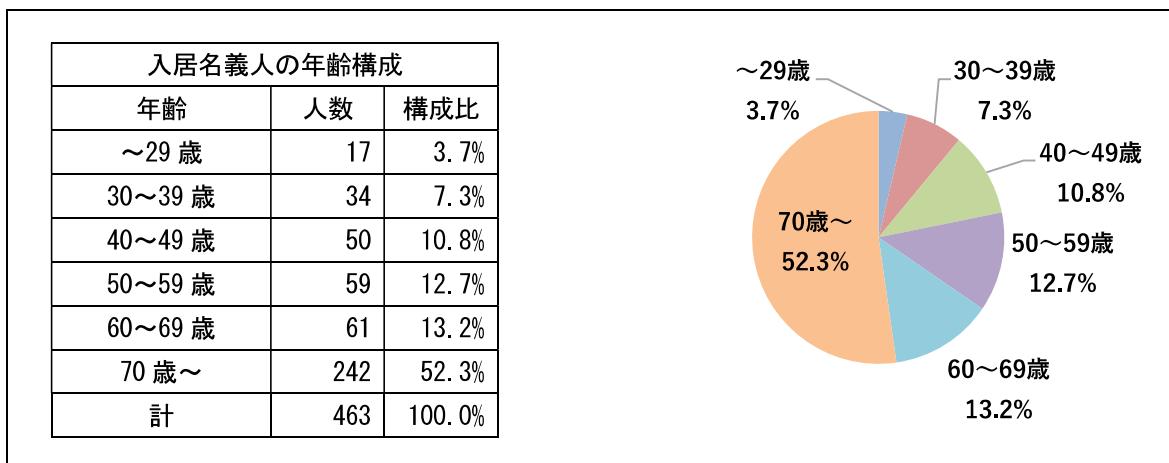
図表 管理戸数等

管理戸数	621
入居戸数	463
入居人数	809
賃貸階層戸数	309

##### ② 入居名義人の年齢構成

- 70歳以上の入居名義人がもっとも多く、次いで60~69歳となり、60歳以上が入居名義人の65.5%を占めている。
- 29歳以下の入居名義人は3.7%と最も低い。

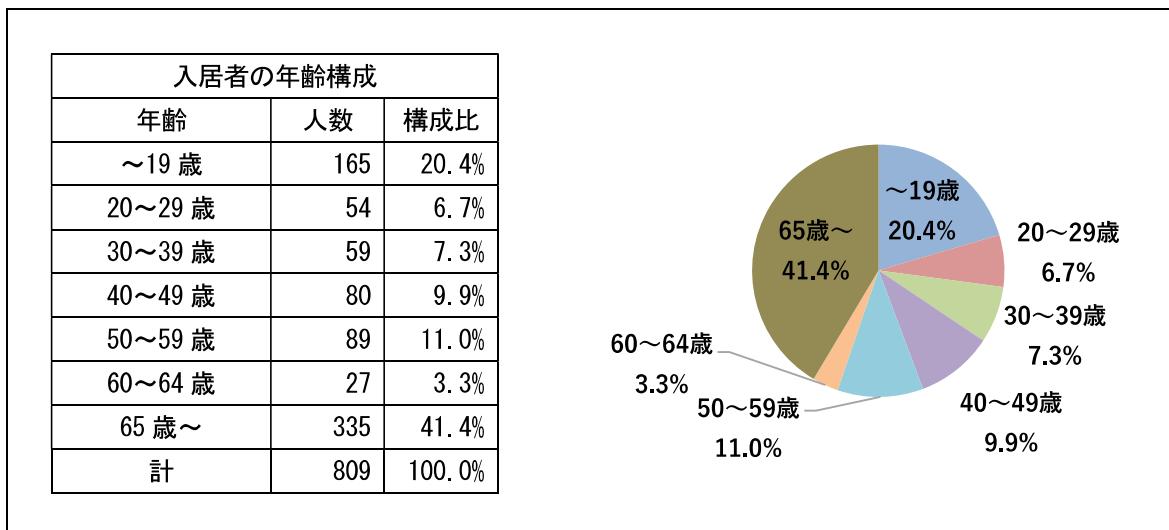
図表 入居名義人の年齢構成



### ③ 入居者の年齢構成

- 市営住宅入居者の 65 歳以上の高齢者率は 41.4% となっており、小松市全体の高齢者率 28.8% と比較すると高くなっている。(令和 5 年「校下、男女、年齢階層別人口」(令和 5 年 (2023 年) 6 月 1 日現在))

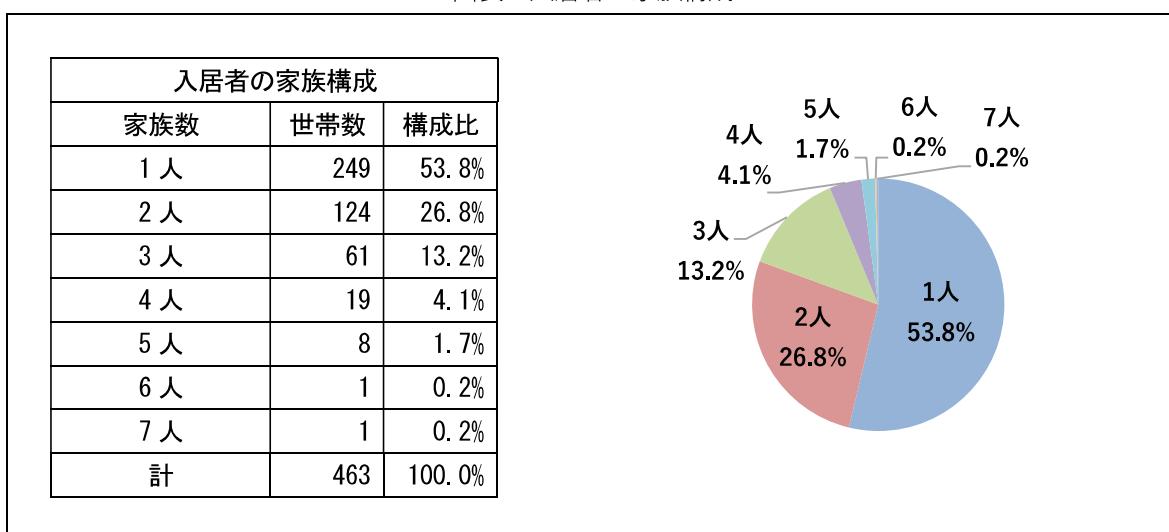
図表 入居者の年齢構成



### ④ 入居者の家族構成

- 市営住宅入居者の平均家族数は、1.7 人である。
- 上記に対して、小松市全体の平均家族数は 2.36 人であるため、市営住宅入居者の世帯が小規模であることがわかる。(令和 4 年「人口動態白書」)

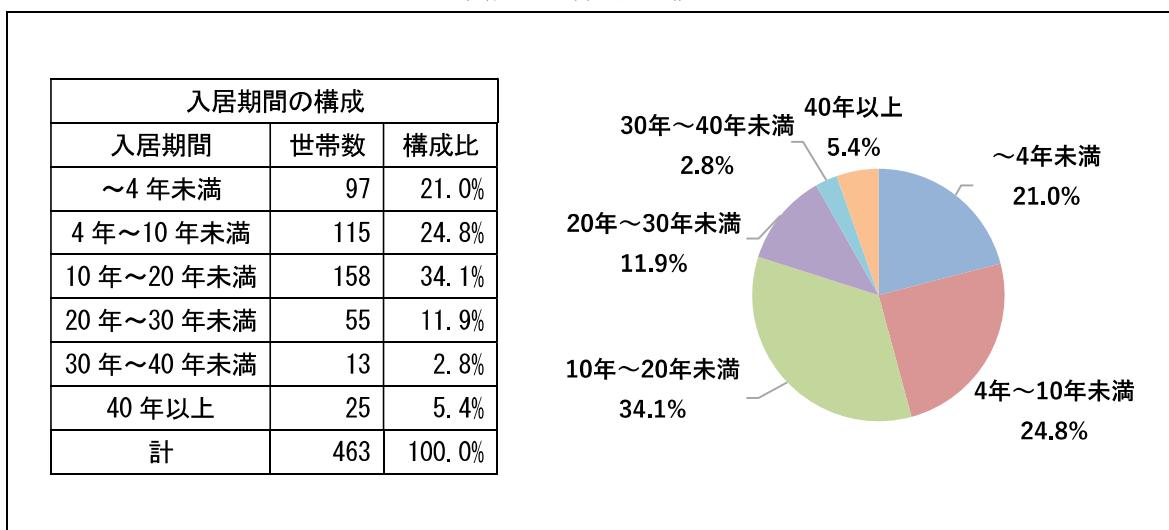
図表 入居者の家族構成



## ⑤ 入居期間の構成

- 入居期間は、20年未満が79.9%を占めているが、一方で40年以上が25世帯あり、5.4%を占めている。

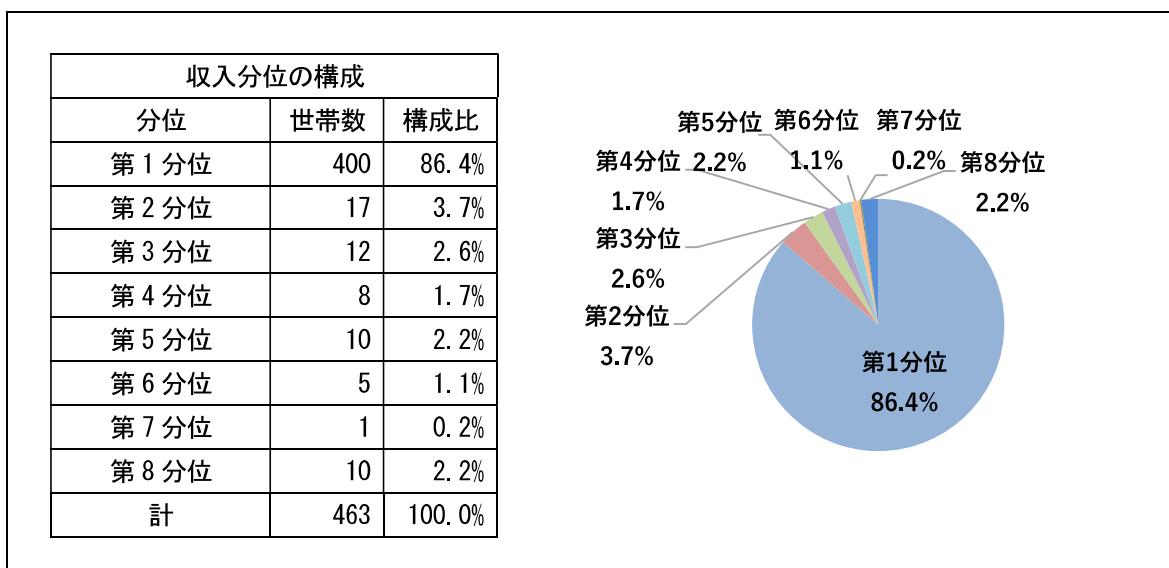
図表 入居期間の構成



## ⑥ 収入分位

- 第1分位の世帯が、86.4%を占めており、最も多い。

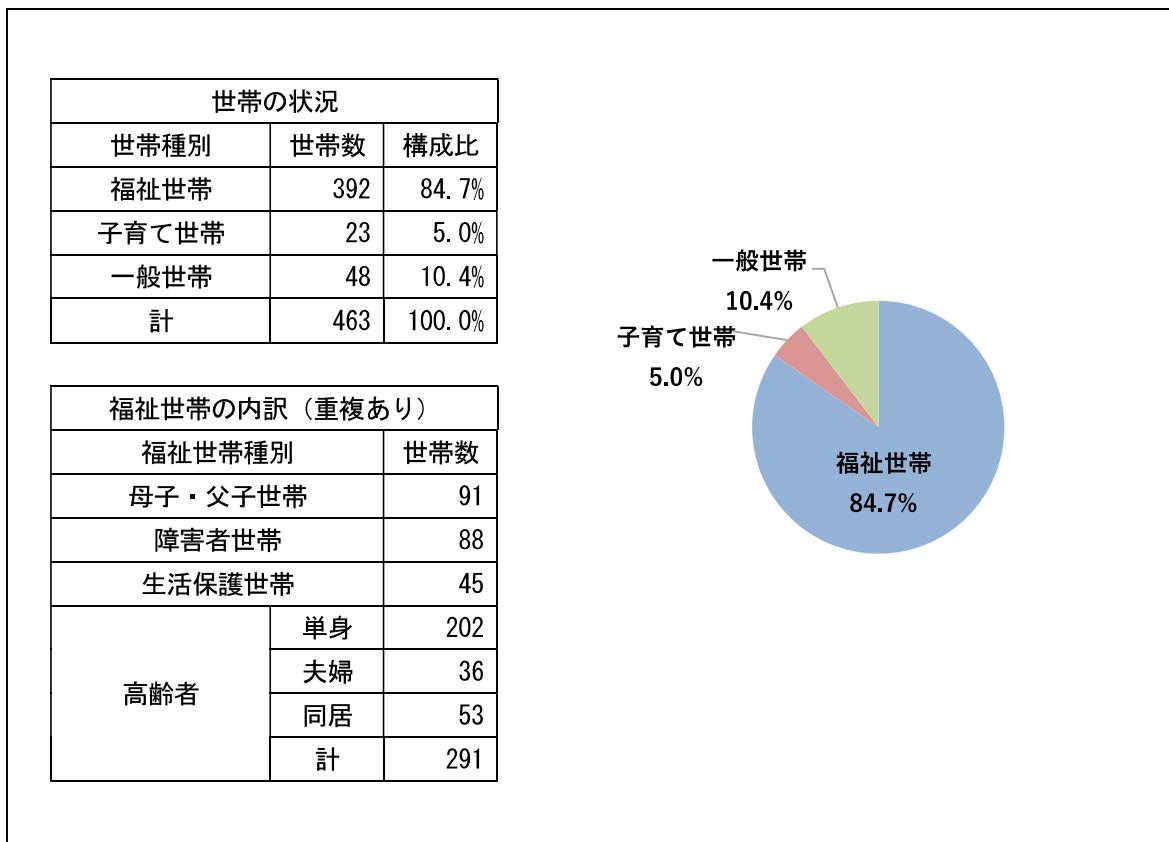
図表 収入分位



## ⑦ 福祉世帯の状況

- ・ 福祉世帯が、全世帯の 84.7%を占める。
- ・ また、市営住宅入居の生活保護世帯は 45 世帯となっており、小松市全体の生活保護世帯 375 世帯の 12.0%が市営住宅に入居していることとなる。(令和 3 年版 統計書～グラフで見る小松市～(令和 3 年 (2021 年) 3 月時点))

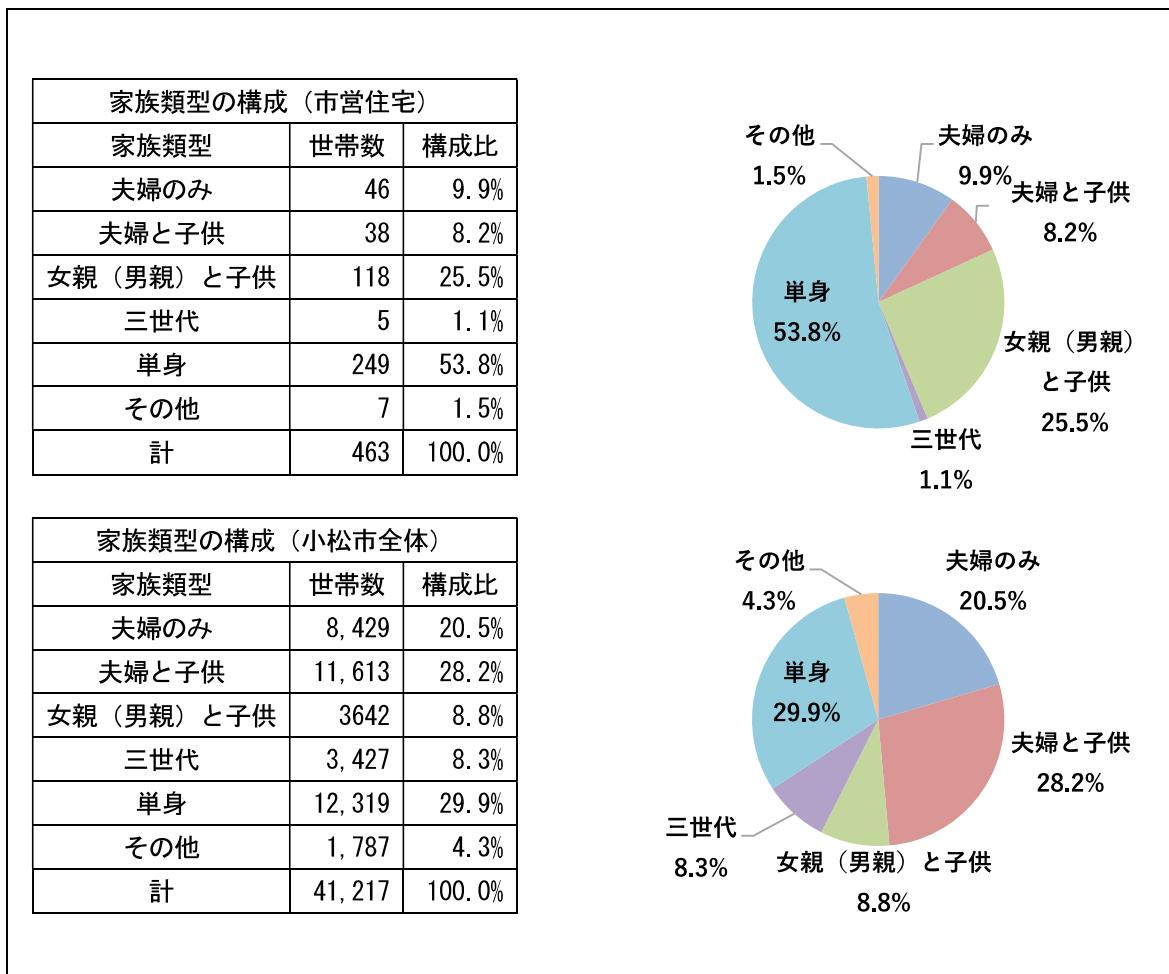
図表 福祉世帯の状況



## ⑧ 世帯の型

- 市営住宅の単身世帯の構成比は 53.8%となっており、小松市全体の単身世帯の構成比 29.9%と比較としても多い。(令和 2 年(2020 年)国勢調査)
- また、市営住宅の女親（男親）と子供の世帯の占める割合は 25.5%となっている。

図表 家族類型の構成



## (5) 市営住宅の空き室状況

- 駅やバスなどの交通網、市民病院や商店の多いまちなかに立地している新末広町は入居待ちが多い。
- 空き室があるのに入居待ちがあるのは、入居希望が求める条件を満たした住戸が不足していることを示している。

図表 空き室状況

<単位：戸、人>

住宅名	管理戸数	入居戸数	空き家戸数		待機者
			政策空き家	準備中空き家	
天神町	45	43		2	2
新末広町	66	64		2	8
安宅町第二	15	6	9		
木曽町	184	139		45	
蛭川町	20	14	6		
川辺町	110	103		7	
吉竹町	82	63		19	2
本江町	18	0	18		
津波倉町	24	9	15		
下栗津新町	10	2	8		
四丁町	47	20	27		
総計	621	463	83	75	12

令和5年（2023年）6月現在